

令和7年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立新宮高等学校（全日制） 校長名：下村 史郎

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

- ・生徒や地域の期待に応える質の高い教育の実践を目指す。
- ・知・徳・体が調和し、地域社会や次世代の日本社会、国際社会におけるさまざまな分野で活躍できる生徒を育成する。
- ・知識や技能を活用し、課題解決に向けた取り組みを主体的に進められる生徒を育成する。
- ・思いやりがあり、多様な他者より良い方向を目指してともに活動できる生徒を育成する。

学校評価の公表方法

学校運営協議会等において学校関係者に公表するとともに、本校ホームページに掲載して広く公表する。

現状・進捗度

A	十分に達成している。	(80%以上)
B	概ね達成している。	(60%以上)
C	あまり十分でない。	(40%以上)
D	不十分である。	(40%未満)

自己評価（分析、計画、取組、評価）

番号	計画・取組				評価（月 日現在）		
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	授業において知識の習得を確実に行うとともに、自律性の高い学習者に育て、生徒一人一人の更なる学力伸長を図る。	C	知識の習得が確実に行われるよう、授業時間を確保する。	年間授業計画の100%実施とチャイム授業の実践。			
			生徒が主体的に学ぶ授業となるよう授業改善を進める。	研究授業(教科2回)、事前事後学習会を実施する。			
			自律した学習について、生徒自らが考え行動する場を設ける。	生徒会や委員会から、学習に関する提案があったか。			
2	各教科における授業と総合的な探究の時間・くまの学彩において、探究的な学びを充実し、互いに補完しながら高め合う循環的な関係を築く。	C	各授業の中で探究型学習を実践していく。	探究的な学びを取り入れた研究授業を行う。			
			「くまの学彩」や総合的な探究の時間をより充実させる。	全ての生徒が積極的に成果発表会に参加したか。			
			探究的な学びについて、研究を重ねる。	外部講師招聘及び自主的な研修会を開催できたか。			
3	キャリア教育の観点を踏まえた具体的な進路指導を充実させることで、生徒一人一人の進路意識を高め、希望進路の実現を図る。	B	進路検討会やA S等を計画的に実施する。	進路指導年間計画が着実に実施できているか。			
			継続的な個別面談・進路相談及び三者面談を実施する。	個別面談及び三者面談を年間5回/1人以上行う。			
			生徒の進路実現に取り組む担任へのサポートを充実する。	進路指導部や学年団が計画的に担任を支援できたか。			
4	地域を中心とした学校外との連携を充実させることにより、生徒の活動の幅を広げ、広い視野と豊かな人間性を育み、自己肯定感の高まりを促す。	C	生徒の成長に外部人材を活用する仕組みを構築する。	外部からサポートいただく人材バンクを構築する。			
			将来的に生徒の成長に繋がる学校開放を多く設定する。	公開授業、クリーン作戦等学校開放の機会を設ける。			
			学校運営協議会の取組を生徒の成長に繋げる。	部会の設置とともに、生徒と活動する機会を設ける。			

学校関係者評価（月 日実施）

--